

【一中】募金活動へのお礼のお手紙をいただきました

本文:

本校と第五中が共同して実施した「能登半島伝統工芸復興支援募金活動」で集めた募金を送っていました。その募金の送金先の理事長様からお礼のお手紙をいただきました。

もしかすると集めた募金額は微々たるものかもしれませんが、しかし、大変な時にこそ、支えようとする姿勢と支えたいという気持ちを届けることは大切なことだと思います。つらく、厳しい時にさしのべられた温かい手のぬくもりは、前を向き、歩き出そうという気持ちにしてくれます。第一中、第五中の取組が、輪島の伝統工芸の未来を支えるきっかけになるのであれば良いと思います。そして、輪島の伝統工芸を支えるということが唐津くんちの曳山の未来を支えることにもつながると考えています。継続した取組が出来ればと思います。

佐賀県唐津市立第一中学校の皆様、こんにちは。毎日うっとうしい雨が続く能登半島ですが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

元日の能登半島地震に際しまして、御校唐津市立第五中学校、第一中学校の生徒会の皆様には、勉強や部活動などと大変なのに、貴重な時間を募金活動に費やして頂き有難うございました。

本当に温かいご支援を頂き心より御礼申し上げます。

地震から半年が過ぎ、当組合の輪島塗会館も七月から水が使えない様になりましたが漆を精製する工場は傾いたままで、トイレも使えない状態です。

それでも町は少しずつ解体工事が目につくようになりました。

空き地には仮設の住宅が立ち並び、当会館の駐車場にも仕事が出来るように職人さんの仮設工房の工事が始まり、学校の校庭にも仮設の教室の工事と、町には仮設と名の付く建物が目立ち一歩一歩、前進しつつも、悲しい寂しい気持ちが入り混じります。

この先には、きっと、以前の様な風景が戻るのだろう。と皆、懸命に希望をもって、前を見ているような気がします。

お寄せ頂きました善意につきましては、輪島塗を継承させる為、被災された職人や塗師屋の支援、漆工場や地の粉を製造する工場の修繕などに活用させて頂きます。

未曽有の震災による甚大な被害は、経済面のみならず地域文化にまで波及しており、一朝一夕の復旧は望みませんが、全力を挙げて復興に取り組んでまいりたいと思います。

本来であれば皆様のご厚情に対してお伺いの上、ご挨拶申し上げるべきところですが、略儀ながら書中をもちまして厚く御礼申し上げます。とともに皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

謹白

令和六年七月

輪島漆器商工業協同組合

理事長 日南由之